

2018年11月8日

各位

会社名 フォーライフ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 奥本 健二
 (コード：3477、東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 執行役員 渡辺 泰寛
 経営企画部長
 (TEL：045-900-7727)

2019年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2018年8月9日に公表しました2019年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年8月9日発表)	3,800	30	18	12	6.00
実績値(B)	3,707	21	6	△1	△0.67
増減額(B-A)	△92	△8	△11	△13	—
増減率(%)	△2.4%	△26.8%	△66.5%	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	4,043	215	214	146	73.42

2. 差異の理由

分譲住宅事業においては、競合による完成在庫の増加、供給戸数の減少及び販売価格の高騰により、エンドユーザーの選別眼が厳しくなる等の傾向が見られました。

当社の分譲住宅事業では、土地仕入決済から顧客への引渡（売上計上）までの期間が約6ヵ月であり、前期に計画・土地仕入した物件に関して、当初見込価格での販売が出来ず、完成在庫の早期販売及びたな卸資産回転率の維持を目的とした値引き販売が、第2四半期においても継続いたしました。

一方で、このような状況を受けて期中に値下げ方針を見直したことにより、一部物件に関しては販売価格を維持するため完成在庫とし、第3四半期以降の販売・引渡といたしました。これにより、前回発表予想比で引渡は4棟減となり、売上高及び各利益に差異が生じました。

なお、注文住宅事業及びその他事業におきましては、概ね計画通りに進捗いたしました。

また、2019年3月期通期の業績予想につきましては、2018年8月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

分譲住宅事業においては、2019年3月期下期に販売予定の土地仕入を完了しており、高利益率の物件もあることから、適正な販売価格を見極めて、値下げ幅を抑えた販売を実施してまいります。

注文住宅事業及びその他事業におきましては、概ね計画通りの進捗を見込んでおります。

全社的には、営業活動の強化により売上高を拡大するとともに、より効率的な設計・施工の推進、原価管理の徹底、経費削減等により、安定した利益の確保に努めてまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上